

第 49 回神奈川県立座間谷戸山公園 現場研修会報告

—テーマ：湿地環境の順応的管理—

今回の研修会は、湿地環境の順応的管理というテーマで、茂りすぎているヨシ、ガマ等の刈り払いと、ホトケドジョウのビオトープの再生として、谷戸の水路の造成準備を行いました。



まず初めは、講師から研修内容の説明です。
単なる作業にならないよう、ビオトープの考えを
もって進めている作業であることを再確認します。



今回は湿地で繁茂すぎたヨシ、ガマ、
ミゾソバを刈っていきます。そのために
まずウェーダー(胴長靴)を履きます。



準備が整いましたが、今回は湿地の中でいくつか生育が確認されていた、神奈川県で絶滅危惧種にも指定されているミズニラが他にも生育していないかチェックしながら、作業を進めていきました。



今回は 17 名の参加者がいたおかげで、作業がかなりはかどりました。



作業前は高く育ったヨシとガマとミゾソバで覆われていた湿地ですが(写真左)、それらを刈っていただけでかなり水面が出てきました(写真右)。ということは、他の植物があまり生えてこれない環境だったということですね。



その中でも何とか確認されたミズニラには
マークをつけておきます。
これで午前中の作業は終了です。



午後は恒例の環境に関する記事の発表からです。
今回も受講生それぞれの視点で記事を
持ってきていて、とても面白い時間でした。



午後はホトケドジョウのビオトープ再生として
谷戸の水路の造成準備を行うため、
まずはその説明からです。



これが谷戸の奥の湧水に続く場所です。
一面が湿地となり、カサスゲという湿生
植物に覆われている状況です。



そこを、以前そうだったように、林縁に沿って水路を造成することで、ホトケドジョウのビオトープとして再生していきます。今回はその準備段階でカサスゲなどを刈って行きました。

来月からは本格的に水路の造成を始めていきます。
ビオトープを学びながら、ホトケドジョウのビオトープを再生していきますので、
みなさん是非ご参加ください。
最後に、今回見ることができた生きものの写真です。



昼休みには、タマムシを発見しました！本当にきれいな緑の光沢ですね。近くにはベンチとして利用している木が朽ちており、その中で幼虫から成虫に育ったタマムシが顔を出していました。



これは公園にある田んぼと、その脇の水路で見ることができた、
シュレーゲルアオガエルとヤマサナエです。

現場研修会では、研修の中身以外の部分でも、実際に色々な生物に出会えたりするので、
普段あまり現場に出ていない方などには、勉強になるとともに、とても楽しい時間になると思
います。まだ参加されたことのない方も、ぜひ一度現場研修会に参加してみてください。